

明治安田生命 2006年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（社長 松尾 憲治）は、本日、150人（総合職88人、特定総合職62人）の新入職員を迎え、「入社式」を行ないました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせいたします。

「お客さまを大切にする会社」に生まれ変わる、そのスタート地点に共に立っている

- 昨年の保険金等の不適切な不払い問題で、人生の大きな選択を迫られていた皆さんには、ご心配をお掛けしたが、入社いただいたという皆さんの気持ち、心意気に対して、敬意と感謝を表わしたいと思います。
- 現在、業務改善計画および「明治安田再生プログラム」に基づき、「お客さまを大切にする会社」の実現に向け、お客さま・社会からの信頼回復と業務の改善を推進している。
- 本日に「お客さまを大切にする会社」に生まれ変わる、まさにそのスタート地点に共に立っている。

営業、事務サービス等のあらゆる面で「品質のよい会社」の実現をめざす

- 「お客さまを大切にする会社」を実現するための具体的な取組みとして「明治安田再生プログラム」を策定し、「中期経営計画」と、「新風土創造『MOTプロジェクト』」をその両輪に位置付けた。
- 中期経営計画に基づき、確実な経営改善をめざすとともに、「新風土創造『MOTプロジェクト』」において、経営計画実行の基盤となる新たな企業風土を創造することを目的として、お客さまに対しての社員の意識改革を進めている。
- 特に、「新風土創造『MOTプロジェクト』」では、社内の自由闊達な風土の醸成を前提に、お客さまの声を聞く、社会に開かれた会社を創り上げ、**営業、事務サービス等のあらゆる面で「品質のよい会社」の実現をめざしている。**

当社にとって最も大事なものは「こころ」

- 社長に就任して初めて全職員に送った言葉をお伝えする。今、**当社にとって最も大事なものは「こころ」である**ということである。その具体的な「こころ」は、お客さま・社会からの信頼回復に向けて、一緒に頑張ろうという**「熱いこころ」**、お客さまを大切にしようという**「誠実なこころ」**、仲間を励まし、勇気づける**「温かいこころ」**、である。
- どの学校を卒業したか、学生時代どんな成績であったかは、皆さんの将来を決めるものではない。**一番大切なものは、物事の捉え方・考え方、仕事への姿勢と努力**である。
- 本日から、「明治安田生命」の一員として、力を合わせて「お客さまを大切にする会社」を創り上げていこう。

2006年度入社式実施概要

- (1) 日 時 2006年4月3日（月）9:00～9:45
 (2) 会 場 丸の内 MY PLAZA ホール
 (3) 出席者 新入職員 150人 (人)

	総合職	特定総合職	合計
新入職員	88	62	150

※特定総合職は、勤務地限定の総合職という位置付け。入社後は、生命保険事業の中核業務（団体保険営業・個人保険販売者支援等）を中心に担当し、一定期間経過後は、総合職に準ずる幅広い職務を担当。

以上